| 大学院看護学研究科<br>博士前期課程 | | 授業科目 | 周産期母子援助論<br>Perinatal Health Care Nursing | | | 担当教員 | 高田 昌代（専任） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 開講年次 | 1年次後期 | 単位数 | 2単位 | 科目分類 | 専門科目<br>実践看護学 | 授業形態 | ゼミ・講議 |
| 選択必修 | 選　択 | 時間数 | ３０時間 | | | 使用教室 | |

**授業の目的及びねらい**

周産期にある母子及び家族への援助能力及び指導能力向上のために、妊娠・分娩・産褥期にある対象者の評価及び援助、地域母子保健活動とその施策、生殖医療や性に関する課題等について、具体的・実践的に追求する。

**授業のキーワード**

周産期、妊娠、分娩、産褥、新生児、家族、安全性と快適性、周産期における倫理的課題、少子化社会での看護職の課題

| 講義回数 | 授　業　内　容　及　び　計　画 |
|---|---|
| 第1回<br>第2回 | 周産期における妊産褥婦を取り囲む家族のストレスと家族の意味 |
| 第3回<br>第4回 | 妊娠期の健康問題への援助とその評価（事例検討含む） |
| 第5回<br>第6回 | 分娩経過における援助とその評価（事例検討含む） |
| 第7回<br>第8回 | 産褥期母子への援助とその評価（事例検討含む） |
| 第9回<br>第10回 | 分娩期の安全性と快適さの確保のための周産期システム |
| 第11回<br>第12回 | 周産期における倫理的課題 |
| 第13回<br>｜<br>第15回 | 少子化社会の中での周産期における看護職の役割と課題 |

**テキスト**

講義時提示する

**参考文献**

Care in Normal Birth: A Practical Guide, ＷＨＯ（邦語訳あり）
ルヴァ・ルービン：母性論，医学書院，1997
A Guide to Effective care in Pregnancy & Childbirth, Oxford University Press
母性、助産、周産期に関する国内外の原著論文

**成績評価の方法**

1. 主体的な学習活動
2. 課題に対する問題解決能力
3. プレゼンテーション内容および表現能力
4. レポート

**教員から学生へのメッセージ**